

末松電子製作所の電気さくが「選ばれる」理由

現場主義

相手は自然です。まったく同じ環境はありません。だからこそ「売れば終わり」ではなく「現場主義」で常に農家の方の声に耳を傾け、電気さく専門メーカーとして、現場で培ったノウハウを製品の改良・開発に役立てています。



人にやさしい技術

私たちの製品は「売れば終わり」ではありません。安全かつ効果的なご使用についてアドバイスを行っています。さらに、万が一のトラブルにも対応できるように、個別に製品を管理し運用をサポートしています。



開発から製造まで信頼の国内生産

使用する環境に合わせた製品や高齢化する農家の方々に使いやすい製品であることを目指し、多くの特許を取得。用途に合わせた機能や形状、操作方法など誰でも使いやすい製品開発に向けて技術の研鑽に努めています。

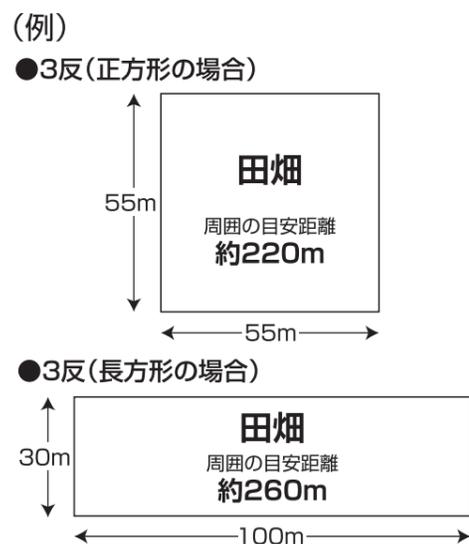


充実のサポート体制

企画・設計から製造・品質管理まで一貫した生産体制で、各種法令を遵守し、輸入品に頼らず自社製造にこだわり、たとえ時間がかかっても自社でコツコツ技術を磨き、信頼して使っただけ「人と自然に優しい製品づくり」を行なっています。



田畑の周囲の目安距離



※目安距離は平坦で整備されている圃場(田畑)の場合です。同じ面積でも形や地形など設置場所により電気さくの設置距離は変わりますのでご注意ください。

■面積と周囲の長さの関係

面積	周囲の目安距離	
	正方形の場合	長方形の場合(算出条件)
1反 = 約10a = 約1,000㎡	約130m	約220m(10×100m)
2反 = 約20a = 約2,000㎡	約180m	約240m(20×100m)
3反 = 約30a = 約3,000㎡	約220m	約260m(30×100m)
4反 = 約40a = 約4,000㎡	約260m	約280m(40×100m)
5反 = 約50a = 約5,000㎡	約290m	約420m(28×180m)
6反 = 約60a = 約6,000㎡	約310m	約460m(30×200m)
7反 = 約70a = 約7,000㎡	約340m	約510m(32×220m)
8反 = 約80a = 約8,000㎡	約360m	約570m(32×250m)
9反 = 約90a = 約9,000㎡	約380m	約660m(30×300m)
1町 = 約1ha = 約10,000㎡	約400m	約720m(30×330m)

目次

電気さく資材の基本的な選び方

p.3へ

必要な資材の割り出し方 3 電気さく本器の選び方 4

対象動物別対策

p.5へ

イノシシ対策(家庭菜園用) 5 放牧用資材 20
 イノシシ対策 7 イノシシ・小動物対策(電気ネットタイプ) 21
 イノシシ・シカ対策 11 あいがも農法対策 26
 地形やその他効果的な電気さくの張り方 18 イノシシ対策(メッシュガイシ) 27
 クマ対策 19 サル対策 29

電気さく本器

p.39へ

本器の盗難補償・修理保証について 39 本器オプション・ソーラーパネル 55
 電気さく本器比較表 41 ●取付支柱セット 56
 屋外用ゲッターシリーズ(電池・バッテリー・ソーラー) 43 屋内用ゲッターシリーズ(AC100V) 57

個別資材

p.61へ

FRPポール・フック 62 巻取機 69 バッテリー・電池・電源コード関連 75
 ガイシ一体型FRPポール 64 検電器 70 その他資材 77
 ゲッターパイル 65 ゲート(出入口資材) 71 (ヒューズ・注意表示板・穴あけ器・打込器)
 ゲッターパイル用ガイシ 66 埋没線 72 マイナス棒・水路対策資材 78
 木杭用ガイシ 66 マイナスシート 73
 電気さく線(コード) 67 通電塗料 74

電気さく基礎知識

p.79へ

電気さくとは 79 電気さく設置の際に注意すること 80
 電気さくの安全性について 79

設置後の管理

p.83へ

電気ショックが弱い場合の確認方法 83 被害を減らすために日常でできること 85
 電圧と漏電の関係について 85 「電気さく、よくあるご質問」 86
 効果を持続させるためには 85 ご注意 87

索引

p.88へ

●末松電子製作所の沿革 90